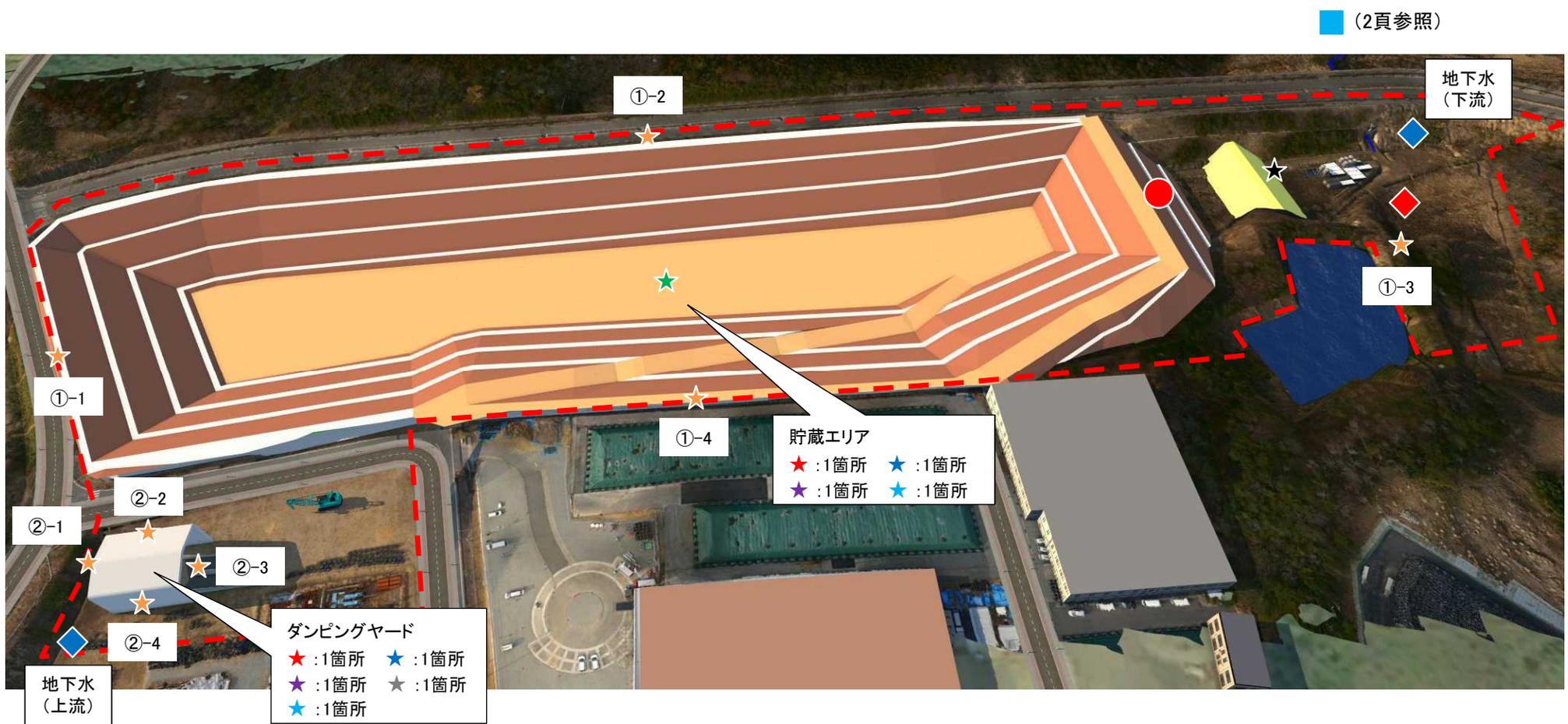


土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)①



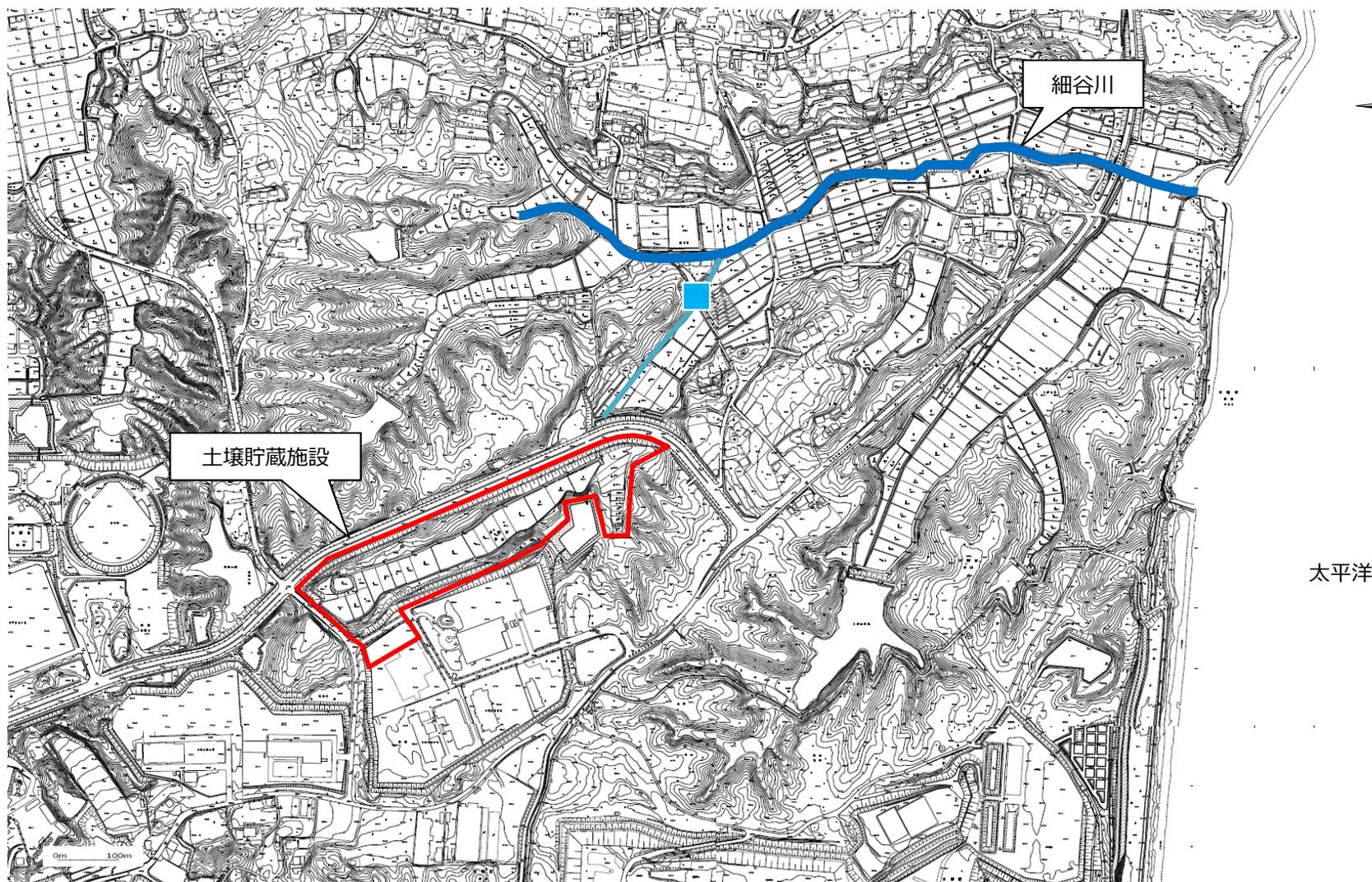
【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- ★ : 表面汚染密度(重機)

★ : 施設の位置



土壤貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)②



凡例

■ : 河川水観測地点

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2021年3月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2021/3/12 (稼働後)		70
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2021/3/12 (稼働後)		16

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2021/3/12 (稼働後)		14
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2021/3/12 (稼働後)		9.0

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21 (稼働前)		ND
2021/3/12 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日				
2021/3/12	7.8	2	52	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2021/3/1 ~2021/3/31	114	0.0	0.0	ND	3283.9

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日	
2021/3/12	17

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2021/3/12 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンピングヤード	2021/3/12 (稼働後)		0.2
貯蔵エリア	2021/3/12 (稼働後)		ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2021/3/12 (稼働後)		0.32
貯蔵エリア	2021/3/12 (稼働後)		0.70

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
ダンピングヤード	2021/3/12 (稼働後)		ND	ND
貯蔵エリア	2021/3/12 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	①-1	2021/3/12 (稼働後)		ND
	①-2	2021/3/12 (稼働後)		ND
	①-3	2021/3/12 (稼働後)		ND
	①-4	2021/3/12 (稼働後)		ND
ダンピングヤード	壁	②-1	2021/3/12 (稼働後)	ND
		②-2	2021/3/12 (稼働後)	ND
		②-3	2021/3/12 (稼働後)	ND
		②-4	2021/3/12 (稼働後)	ND
	床	2021/3/12 (稼働後)	ND	
貯蔵エリア	設備	トラックホッパー	2021/3/12 (稼働後)	ND
	重機	法面ベルトコンベア	2021/3/12 (稼働後)	ND
		バックホウ	2021/3/12 (稼働後)	ND
		ブルドーザー	2021/3/12 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.63 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2021年2月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2021/2/5 (稼働後)		82
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2021/2/5 (稼働後)		20

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2021/2/5 (稼働後)		14
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2021/2/5 (稼働後)		10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
測定日		
2019/5/21 (稼働前)		ND
2021/2/5 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質
	(pH)	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
測定日				
2021/2/5	7.7	2	58	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2021/2/1 ~2021/2/25	72	0.0	0.0	ND	1971.9

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目		浮遊物質 (SS)
測定日		(mg/L)
2021/2/5		7

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日			
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2021/2/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
ダンピングヤード	2021/2/5 (稼働後)		0.2
貯蔵エリア	2021/2/5 (稼働後)		0.2

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
ダンピングヤード	2021/2/5 (稼働後)		0.33
貯蔵エリア	2021/2/5 (稼働後)		0.63

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	測定日			
ダンピングヤード	2021/2/5 (稼働後)		ND	ND
貯蔵エリア	2021/2/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
		測定日			
貯蔵施設境界	①-1	2021/2/5 (稼働後)		ND	
	①-2	2021/2/5 (稼働後)		ND	
	①-3	2021/2/5 (稼働後)		ND	
	①-4	2021/2/5 (稼働後)		ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	2021/2/5 (稼働後)	ND	
		②-2	2021/2/5 (稼働後)	ND	
		②-3	2021/2/5 (稼働後)	ND	
		②-4	2021/2/5 (稼働後)	ND	
貯蔵エリア	床		2021/2/5 (稼働後)	ND	
		設備	トラックホッパー	2021/2/5 (稼働後)	ND
		重機	法面ベルトコンベア	2021/2/5 (稼働後)	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ	2021/2/5 (稼働後)	ND	
		ブルドーザー	2021/2/5 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.63 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2021年1月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2021/1/8 (稼働後)		79
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2021/1/8 (稼働後)		23

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2021/1/8 (稼働後)		9.0
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2021/1/8 (稼働後)		11

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21 (稼働前)		ND
2021/1/8 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日				
2021/1/8	7.7	6	55	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2021/1/6 ~2021/1/30	33	0.0	0.0	ND	902.3

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
測定日	
2021/1/8	6

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2021/1/8 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンピングヤード	2021/1/11 (稼働後)		0.2
貯蔵エリア	2021/1/11 (稼働後)		ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2021/1/8 (稼働後)		0.30
貯蔵エリア	2021/1/8 (稼働後)		0.53

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
ダンピングヤード	2021/1/8 (稼働後)		ND	ND
貯蔵エリア	2021/1/8 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137: 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①-1	2021/1/8 (稼働後)		ND	
	①-2	2021/1/8 (稼働後)		ND	
	①-3	2021/1/8 (稼働後)		ND	
	①-4	2021/1/8 (稼働後)		ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	2021/1/8 (稼働後)	ND	
		②-2	2021/1/8 (稼働後)	ND	
		②-3	2021/1/8 (稼働後)	ND	
		②-4	2021/1/8 (稼働後)	ND	
ダンピングヤード	床		2021/1/8 (稼働後)	ND	
			2021/1/8 (稼働後)	ND	
貯蔵エリア	設備	トラックホッパー	2021/1/8 (稼働後)	ND	
		重機	法面ベルトコンベア	2021/1/8 (稼働後)	ND
			バックホウ	2021/1/8 (稼働後)	ND
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー	2021/1/8 (稼働後)	ND	
			2021/1/8 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.63 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年12月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2020/12/7 (稼働後)		78
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2020/12/7 (稼働後)		21

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2020/12/7 (稼働後)		9.0
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2020/12/7 (稼働後)		10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21 (稼働前)		ND
2020/12/7 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2020/12/7		7.8	9	43

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/12/1 ~2020/12/30	36	0.0	0.0	ND	971.2

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/12/7		6

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2020/12/7 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	2020/12/7 (稼働後)		0.4
貯蔵エリア	2020/12/7 (稼働後)		ND

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2020/12/7 (稼働後)		0.31
貯蔵エリア	2020/12/7 (稼働後)		0.75

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	2020/12/7 (稼働後)		ND	ND
貯蔵エリア	2020/12/7 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①-1	2020/12/7 (稼働後)		ND	
	①-2	2020/12/7 (稼働後)		ND	
	①-3	2020/12/7 (稼働後)		ND	
	①-4	2020/12/7 (稼働後)		ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	2020/12/7 (稼働後)	ND	
		②-2	2020/12/7 (稼働後)	ND	
		②-3	2020/12/7 (稼働後)	ND	
		②-4	2020/12/7 (稼働後)	ND	
ダンピングヤード	床		2020/12/7 (稼働後)	ND	
		設備	トラックホッパー	2020/12/7 (稼働後)	ND
			ブルドーザー	2020/12/7 (稼働後)	ND
貯蔵エリア	重機	法面ベルトコンベア	2020/12/7 (稼働後)	ND	
		バックホウ	2020/12/7 (稼働後)	ND	
		ブルドーザー	2020/12/7 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.63 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年11月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2020/11/9 (稼働後)		74
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2020/11/9 (稼働後)		22

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2020/11/9 (稼働後)		9.0
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2020/11/9 (稼働後)		10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21 (稼働前)		ND
2020/11/9 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2020/11/9		7.8	2	36	2

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2020/11/2 ~2020/11/30	46	0.0	0.0	ND	1272.3

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2020/11/9		25

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2020/11/9 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンピングヤード	2020/11/9 (稼働後)		0.3
貯蔵エリア	2020/11/9 (稼働後)		ND

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2020/11/9 (稼働後)		0.32
貯蔵エリア	2020/11/9 (稼働後)		0.77

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
ダンピングヤード	2020/11/9 (稼働後)		ND	ND
貯蔵エリア	2020/11/9 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
		測定日			
貯蔵施設境界	①-1	2020/11/9 (稼働後)		ND	
	①-2	2020/11/9 (稼働後)		ND	
	①-3	2020/11/9 (稼働後)		ND	
	①-4	2020/11/9 (稼働後)		ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	2020/11/9 (稼働後)	ND	
		②-2	2020/11/9 (稼働後)	ND	
		②-3	2020/11/9 (稼働後)	ND	
		②-4	2020/11/9 (稼働後)	ND	
貯蔵エリア	床		2020/11/9 (稼働後)	ND	
		設備	トラックホッパー	2020/11/9 (稼働後)	ND
			ブルドーザー	2020/11/9 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年10月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2020/10/12 (稼働後)		64
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2020/10/12 (稼働後)		24

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2020/10/12 (稼働後)		7.0
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2020/10/12 (稼働後)		10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
測定日		
2019/5/21 (稼働前)		ND
2020/10/12 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質量
	(pH)	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
測定日				
2020/10/12	7.9	ND	16	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量 (BOD) のNDとは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。

浮遊物質量 (SS) のNDとは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2020/10/1 ~2020/10/30	132	0.0	0.0	ND	3730.1

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目		浮遊物質量 (SS)
測定日		(mg/L)
2020/10/12		14

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日			
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2020/10/12 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m ³)
	測定日		
ダンピングヤード	2020/10/12 (稼働後)		ND
貯蔵エリア	2020/10/12 (稼働後)		ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
ダンピングヤード	2020/10/12 (稼働後)		0.31
貯蔵エリア	2020/10/12 (稼働後)		0.70

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
	測定日			
ダンピングヤード	2020/10/12 (稼働後)		ND	ND
貯蔵エリア	2020/10/12 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137: 1.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)
		測定日		
貯蔵施設境界	①-1 ①-2 ①-3 ①-4	2020/10/12 (稼働後)		ND
		2020/10/12 (稼働後)		ND
		2020/10/12 (稼働後)		ND
		2020/10/12 (稼働後)		ND
ダンピングヤード	壁 ②-1 ②-2 ②-3 ②-4	2020/10/12 (稼働後)		ND
		2020/10/12 (稼働後)		ND
		2020/10/12 (稼働後)		ND
		2020/10/12 (稼働後)		ND
貯蔵エリア	床 設備 重機	2020/10/12 (稼働後)		ND
		2020/10/12 (稼働後)	トラックホッパー	ND
		2020/10/12 (稼働後)	法面ベルトコンベア	ND
貯蔵エリア	重機	2020/10/12 (稼働後)	バックホウ	ND
		2020/10/12 (稼働後)	ブルドーザー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年9月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2020/9/8 (稼働後)		67
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2020/9/8 (稼働後)		9.0

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2020/9/8 (稼働後)		24
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2020/9/8 (稼働後)		11

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21 (稼働前)		ND
2020/9/8 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2020/9/8		7.7	1	36

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/9/1 ~2020/9/30	169	0.0	0.0	ND	4599.8

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2020/9/8		4

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2020/9/8 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	2020/9/8 (稼働後)		0.4
貯蔵エリア	2020/9/8 (稼働後)		ND

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2020/9/8 (稼働後)		0.28
貯蔵エリア	2020/9/8 (稼働後)		0.59

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	2020/9/8 (稼働後)		ND	ND
貯蔵エリア	2020/9/8 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①-1	2020/9/8 (稼働後)		ND	
	①-2	2020/9/8 (稼働後)		ND	
	①-3	2020/9/8 (稼働後)		ND	
	①-4	2020/9/8 (稼働後)		ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	2020/9/8 (稼働後)	ND	
		②-2	2020/9/8 (稼働後)	ND	
		②-3	2020/9/8 (稼働後)	ND	
		②-4	2020/9/8 (稼働後)	ND	
貯蔵エリア	床		2020/9/8 (稼働後)	ND	
		設備	トラックホッパー	2020/9/8 (稼働後)	ND
		設備	法面ベルトコンベア	2020/9/8 (稼働後)	ND
		重機	バックホウ	2020/9/8 (稼働後)	ND
		ブルドーザー	2020/9/8 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年8月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2020/8/4 (稼働後)		91
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2020/8/4 (稼働後)		24

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2020/8/4 (稼働後)		9.0
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2020/8/4 (稼働後)		11

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21 (稼働前)		ND
2020/8/4 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/8/4		8	ND	26	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2020/8/1 ~2020/8/31	99	0.0	0.0	ND	2967.7

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/8/4		2

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2020/8/4 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンピングヤード	2020/8/4 (稼働後)		0.3
貯蔵エリア	2020/8/4 (稼働後)		0.3

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2020/8/4 (稼働後)		0.29
貯蔵エリア	2020/8/4 (稼働後)		0.62

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
ダンピングヤード	2020/8/4 (稼働後)		ND	ND
貯蔵エリア	2020/8/4 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵施設境界	①-1	2020/8/4 (稼働後)		ND	
	①-2	2020/8/4 (稼働後)		ND	
	①-3	2020/8/4 (稼働後)		ND	
	①-4	2020/8/4 (稼働後)		ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	2020/8/4 (稼働後)	ND	
		②-2	2020/8/4 (稼働後)	ND	
		②-3	2020/8/4 (稼働後)	ND	
		②-4	2020/8/4 (稼働後)	ND	
	床		2020/8/4 (稼働後)	ND	
	設備	トラックホッパー	2020/8/4 (稼働後)	ND	
	貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	2020/8/4 (稼働後)	ND
		重機	バックホウ	2020/8/4 (稼働後)	ND
		ブルドーザー	2020/8/4 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年7月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2020/7/2 (稼働後)		75
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2020/7/2 (稼働後)		23

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2020/7/2 (稼働後)		9.0
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2020/7/2 (稼働後)		10

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
測定日		
2019/5/21 (稼働前)		ND
2020/7/2 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質量
	(pH)	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
測定日				
2020/7/2	7.9	3	32	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/7/1 ~2020/7/31	272	0.0	0.0	ND	8314.2

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目		浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日		
2020/7/2		3

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 (稼働前)	ND	ND
2020/7/2 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目	
	測定日	粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	2020/7/2 (稼働後)	0.4
貯蔵エリア	2020/7/2 (稼働後)	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目	
	測定日	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2020/7/2 (稼働後)	0.30
貯蔵エリア	2020/7/2 (稼働後)	0.59

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	
		Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	2020/7/2 (稼働後)	ND	ND
貯蔵エリア	2020/7/2 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm²)		
貯蔵施設境界	①-1	2020/7/2 (稼働後)	ND		
	①-2	2020/7/2 (稼働後)	ND		
	①-3	2020/7/2 (稼働後)	ND		
	①-4	2020/7/2 (稼働後)	ND		
ダンピングヤード	壁	②-1	2020/7/2 (稼働後)	ND	
		②-2	2020/7/2 (稼働後)	ND	
		②-3	2020/7/2 (稼働後)	ND	
		②-4	2020/7/2 (稼働後)	ND	
	床	2020/7/2 (稼働後)	ND		
	設備	トラックホッパー	2020/7/2 (稼働後)	ND	
	貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	2020/7/2 (稼働後)	ND
		重機	バックホウ	2020/7/2 (稼働後)	ND
		ブルドーザー	2020/7/2 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年6月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2020/6/5 (稼働後)		100
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2020/6/5 (稼働後)		24

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2020/6/5 (稼働後)		9.0
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2020/6/5 (稼働後)		11

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21 (稼働前)		ND
2020/6/5 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
2020/6/5		7.7	2	34	4

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/6/1 ~2020/6/30	54	0.0	0.0	ND	1483.8

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定日	測定項目	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
2020/6/5		2

SS基準: 60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2020/6/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングヤード	2020/6/5 (稼働後)		0.3
貯蔵エリア	2020/6/5 (稼働後)		0.3

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2020/6/5 (稼働後)		0.33
貯蔵エリア	2020/6/5 (稼働後)		0.66

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	2020/6/5 (稼働後)		ND	ND
貯蔵エリア	2020/6/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①-1	2020/6/5 (稼働後)		ND	
	①-2	2020/6/5 (稼働後)		ND	
	①-3	2020/6/5 (稼働後)		ND	
	①-4	2020/6/5 (稼働後)		ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	2020/6/5 (稼働後)	ND	
		②-2	2020/6/5 (稼働後)	ND	
		②-3	2020/6/5 (稼働後)	ND	
		②-4	2020/6/5 (稼働後)	ND	
貯蔵エリア	床		2020/6/5 (稼働後)	ND	
		設備	トラックホッパー	2020/6/5 (稼働後)	ND
			バックホウ	2020/6/5 (稼働後)	ND
貯蔵エリア	重機	法面ベルトコンベア	2020/6/5 (稼働後)	ND	
		ブルドーザー	2020/6/5 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年5月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2020/5/14 (稼働後)		100
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2020/5/14 (稼働後)		24

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2020/5/14 (稼働後)		10
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2020/5/14 (稼働後)		12

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21 (稼働前)		ND
2020/5/14 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
	2020/5/14		8.1	1	30

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2020/5/3 ~2020/5/29	86	0.0	0.0	ND	2494.7

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質質量

測定日	測定項目	浮遊物質質量 (SS) (mg/L)
2020/5/14		2

SS基準: 60mg/L

浮遊物質質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2020/5/14 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンピングヤード	2020/5/14 (稼働後)		0.3
貯蔵エリア	2020/5/14 (稼働後)		0.5

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2020/5/14 (稼働後)		0.33
貯蔵エリア	2020/5/14 (稼働後)		0.59

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
ダンピングヤード	2020/5/14 (稼働後)		ND	ND
貯蔵エリア	2020/5/14 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
		測定日			
貯蔵施設境界	①-1	2020/5/14 (稼働後)		ND	
	①-2	2020/5/14 (稼働後)		ND	
	①-3	2020/5/14 (稼働後)		ND	
	①-4	2020/5/14 (稼働後)		ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	2020/5/14 (稼働後)	ND	
		②-2	2020/5/14 (稼働後)	ND	
		②-3	2020/5/14 (稼働後)	ND	
		②-4	2020/5/14 (稼働後)	ND	
貯蔵エリア	床		2020/5/14 (稼働後)	ND	
		設備	トラックホッパー	2020/5/14 (稼働後)	ND
		重機	法面ベルトコンベア	2020/5/14 (稼働後)	ND
貯蔵エリア	重機	バックホウ	2020/5/14 (稼働後)	ND	
		ブルドーザー	2020/5/14 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年4月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		61
	2020/4/2 (稼働後)		64
下流	2019/5/8 (稼働前)		18
	2020/4/2 (稼働後)		17

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/5/8 (稼働前)		8.0
	2020/4/2 (稼働後)		7.0
下流	2019/5/8 (稼働前)		10
	2020/4/2 (稼働後)		9.0

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21 (稼働前)		ND
2020/4/2 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2020/4/2	7.5	2	18	ND

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2020/4/1 ~2020/4/28	107	0.0	0.0	ND	3069.2

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日	
2020/4/2	10

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2020/4/2 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定日	測定項目	粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンピングヤード	2020/4/2 (稼働後)		0.4
貯蔵エリア	2020/4/2 (稼働後)		ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率 (μSv/h)
ダンピングヤード	2020/4/2 (稼働後)		0.31
貯蔵エリア	2020/4/2 (稼働後)		0.74

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
ダンピングヤード	2020/4/2 (稼働後)		ND	ND
貯蔵エリア	2020/4/2 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度 (Bq/cm ²)		
貯蔵施設境界	①-1	2020/4/2 (稼働後)	ND		
	①-2	2020/4/2 (稼働後)	ND		
	①-3	2020/4/2 (稼働後)	ND		
	①-4	2020/4/2 (稼働後)	ND		
ダンピングヤード	壁	②-1	2020/4/2 (稼働後)	ND	
		②-2	2020/4/2 (稼働後)	ND	
		②-3	2020/4/2 (稼働後)	ND	
		②-4	2020/4/2 (稼働後)	ND	
	床	2020/4/2 (稼働後)	ND		
	設備	トラックホッパー	2020/4/2 (稼働後)	ND	
	貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	2020/4/2 (稼働後)	ND
		重機	バックホウ	2020/4/2 (稼働後)	ND
		ブルドーザー	2020/4/2 (稼働後)	ND	

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²